

奥田名誉教授のご退任を惜しむ

学 長 加 藤 寛

奥田教授が定年で退任される時がきたことを知って、愕然としている。なぜなら、奥田名誉教授の翻訳『悪魔の辞典』を手にして、その抜群のいいまわしの面白さに私のはまってしまったからである。こんな難解な本を翻訳された先生の学究と、ピアスに対する先生の熱情が、門外漢の私にもひしひしと伝わってきたからである。

同時に先生は英語教育にも大きな情熱を捧げられた。「千葉商大の英語は入学した時の劣等生が一人前になる」と書かれた受験誌の解説をみて、なるほどと思ったことがあった。先生は学生をこよなく愛された。英語の授業以外にも多くの課外教育を受けた学生も多いのではないだろうか。

この先生の愛情が、千葉商大野球部にもそそがれた。毎年のように野球部の改善のために、先生はいろいろな試みをなされてきた。最近はもう少しで一部リーグ優勝するところまでできていたが、夢には届かなかった。先生の熱情が実る日を期待したい。